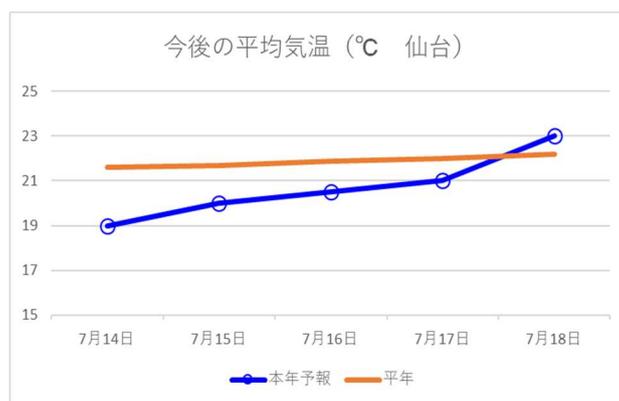
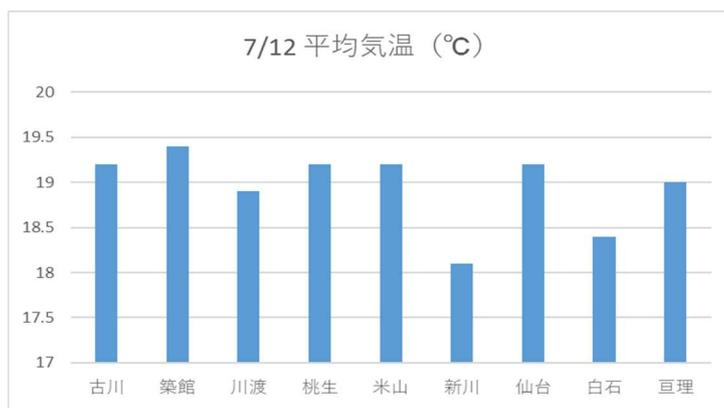


～ **注意喚起** 7月12日からやや低温, 水管理を万全に!!! ～

1 令和2年7月12日～(県内アメダス)

- ・県内いずれの地域のアメダス平均気温が20℃を下回っている。
- ・現在, 中干を実施しているため, 水田内に水が無い圃場がある。
- ・気象庁の2週間予報では, 低温傾向が数日続くとなっている。

※水稻は, 幼穂発育期間になっており, 平均気温が20℃, 最低気温が17℃を下回る日が数日続くと障害が出るといわれている。



2 幼穂生育状況 (古川試験場の作況圃, 加美多収圃)

- ・幼穂: 7/1 現在で5/1 植2.4mm, 5/10 植で0.4mmとなっている。
- ・7/10 時点では, 数ミリから数センチになっていると思われる。
- ・早生である「ゆみあずさ」は, 7/9 現在で1.5cm～8.3cmであった。



3 今後の管理

(1) 深水管理で障害回避

- ・前歴深水管理は, 幼穂形成期に深水管理をすることで危険期 (減数分裂期) のみの深水管理よりも, 障害が軽減されるので, 積極的に深水管理する。
- ・水田センサーのデータを見ると, 水田内の水温は用水温度より数℃高い。
- ・危険期に低温が予想される時は, できうる限り深水管理とする。
- ・山間部や低温掛水田では, アメダス値より気温が低いことが予想され特に注意が必要である。